

第12回いのちと暮らしを守る！ 生活支援・相談プロジェクトを開催 新型コロナウイルスから「区民のいのちと生活を守る」葛飾連絡会

9月6日(土)曳舟親水公園、12回目となる生活支援・相談プロジェクトを開催しました。

昨年は米不足などの影響で、1年間開催できませんでしたが、「またやってほしい」「今度はいつやるの」など、問い合わせや要望が多く寄せられ、1年ぶりに実施することになりました。

前日は台風の影響で荒れた空模様でしたが、プロジェクト当日は打って変わった猛暑日中、支援を待つ220人方が集まりました。

連絡会は、朝10時から設営準備をはじめ、12時から整理券を配布、来場した全ての方に生活支援品を渡すことができました。また、核兵器禁止条約の署名とアンケートに協力していただきました。支援ボランティアには13団体から55人の方が集まり、準備から片付けまでおこないました。

今回の取り組みのために、葛飾区から水6本入り49ケース、ビスケット30ケース、生理用品、ヤクルトさんからジュース250本などを支援物資としていただきました。

運営のためのカンパも団体や個人から17万5千円寄せられました。
《葛飾社保協 吉野五郎事務局長より》



第87回なんでも相談会 厳しい貧困の実態明らかに 北区なんでも相談実行委員会

8月26日(火)王子駅前三角公園で87回目となる「なんでも相談会」が開催され、相談者は9人でした。

生活保護受給中の80代女性は、障害をもったお子さんを施設に入れることができましたが、その結

果障害年金の分が減り、自分の年金だけでは暮らしが立ち行かなくなるとの相談。3月まで働いていたという70代後半の女性は、現在、貯金はあるものの無年金で、団地の家賃7万円が今後きびしくなるとの相談。相談者に寄り添うフォローも進めています。今回、事前にチラシを全戸配布した豊五団地からは4人の相談がありました。

北区の社会保障の貧困の実態については、区民要求実現北区連絡会への北区からの回答で、無年金・低年金の人は、対象となる人の12%、介護保険3割負担のペナルティーを受けている人は83人、国保加入者の4分の1の世帯が保険料滞納によるペナルティーを受けていることがわかっています。貧困の広がりが深刻です。

《北区なんでも相談だより より》

学んで闘う秋の運動 仲間を誘って参加しよう 各種取り組みのご案内

★10月11日(土)13時30分～ 地域社保協学習交流集会

ラパスホール7階(南大塚2-33-10)

介護・国保・補聴器問題などを学び各地域の取り組みを交流しましょう。

★11月20日(木)12時～ 第一弾新介護署名国会提出行動 衆議院第2議員会館第1会議室

臨時国会めがけて大きく成功させよう

行動の成功を弾みに、介護保険制度の抜本改善の流れを大きく作っていくために、新介護署名を大きく広げましょう。

★11月22日(土)13時30分～ 東京社保学校 けんせつプラザ東京5階 (北新宿1-8-16)

社会的危機の歴史的背景を考え直す 最低生活の保障とは」後藤道夫先生を講師に、闘う力をたくわえる学習をしましょう。

第15回介護・認知症 なんでも無料電話相談

11月10日(月)7-ダイヤル0120-
10時～17時 110-458

東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

TEL: 03-5395-3165 FAX: 03-3946-6823

東京社保協

検索



いのちまもる秋の運動スタート 平和と社会保障を立て直そう！

誰一人取り残さない大運動を東京のすみずみから

もう限界 平和と社会保障を立て直せ 9・25いのちまもる総行動



ケア労働者の増員や賃上げなどを訴え、9月25日(木)日比谷野外音楽堂で集会が行われ、全国各地から2200人が参加しました。

医療・介護・福祉・保健に携わるケア労働者は、抜本的な労働条件の改善がないまま低賃金・過重労働の状況に置かれており、退職者が増え、それを補うだけの人材確保が進まずにいます。こうした中で、地域の病院や病棟の閉鎖、無歯科地区の増加、訪問介護の空白自治体が広がるなど、国民の医療や介護へのアクセスが阻害され、くらしと健康に大きな影響を及ぼしています。

集会では、戦後80年を迎え、戦争する国づくりではなく、憲法を守り、医療・介護・福祉・保健を拡充させ、いのちと暮らしを守る政治・政策への転換を進めよう。力を合わせて政治・政策の転換を求める声を広げようと確認しあいました。参



加者からは「いのちを守るための費用にお金をかけてほしい」と切実な声が寄せられました。

集会終了後には、銀座パレードを行い、「いのちをまもれ」「ケア労働者を増やせ」「社会保障費を増やせ」など、沿道の人たちにアピールしました。

この集会に先立ち、11時から新宿駅南口で署名宣伝行動もおこないました。

STOP! 介護崩壊 介護3大改悪許さず、介護制度の抜本改善めざし 新介護署名決起集会

政府は、介護保険制度の根幹を揺るがす「3大改悪」①利用料2割負担の対象拡大②ケアプランの有料化③要介護1、2の生活援助サービスの保険はずしの議論を進め、法案を通常国会にかけようとしています。この秋は、とても大切な運動となります。

この取り組みを成功させるために、9月1日に中央社保協・全労連・全日本民医連は、「新介護署名総決起WEB集会」を開催し、制度改革を阻止来るための全国署名運動の開始を呼びかけました。署名の目標は50万人、そのうち11月までに25万人分を集めることをめざしています。今回のたたかいの3つの柱は、①2027年の介護報酬改定を待たずに介護報酬の大幅引き上げを②深刻な介護人材不足を解消するために介護職員の給与改善③介護3大改悪の阻止(2割負担の拡大、ケアプラン有料化、要介護1・2保険はずし)です。

11月20日には、臨時国会に向けて署名提出集会が予定されています。集会成功のために署名を集めましょう。

このWEB集会の様子は、東京社保協のホームページからも視聴いただけます。介護制度の危機と現場の声を知るためにぜひご覧ください。



「ひとりじゃない 声を上げよう！つぶやきから叫びへ」 軍事基地強化を目の当たりにした 中央社保学校from佐賀



9月20日
21日に佐賀
県で中央社保
学校が開催さ
れました。1
日目は分断を

乗り越え手をつなごう、九州各地の社保協から社会保障運動の経験報告を受け学習しました。この中で「戦争国家への道を阻止する活動と社会保障の拡充を求める活動を一体のものとして運動を進めていこう」と呼びかけがありました。

2日目はフィールドワークで、佐賀空港・オスプレイ基地・有明海干潟を見学しました。有明海は、1997年4月に諫早湾の干拓事業として潮受け堤防が閉め切られて以来、海の環境が激変し、有明海の漁業はノリの歴史的不作など深刻な被害を受けています。しかし、国は事業の失敗を認めず、いったん動き出したらもう元には戻せないという姿勢をとっています。

さらにここにきて浮上したのが、オスプレイ配備のための佐賀空港の自衛隊駐屯基地建設です。佐賀空港は、のどかな大豆などの耕作地域の中にあり、国内線の離発着は1日5便となっています。オスプレイ裁判支援市民の会の蒲原嘉一さんは「周辺に民家もなく、飛行機の離発着も少ないというところが狙われが原因ではないか」と話しました。基地建設のために広大な土地がコンクリートで埋め立てられたために、雨水処理が大きな問題となりました。ただでさえ環境破壊が深刻な有明海に、大量の雨水が流れ込めば、大切な干潟を守ることができない。それならばと、今度は海水と雨水を混ぜるための一時貯留池をつくるという、正に動き出したら止まらないという状態となっています。市民の皆さんは「佐賀空港駐屯地建設工事差止訴訟（市民原告245人）」を提訴



し闘っています。

今、国の軍備増強政策の中で九州から沖縄まで、地元の反対を押し切って軍備強化が進められている事実を目の当たりにするフィールドワークとなりました。

戦争をする国づくりNO！ 安保法制10年 国会前行動

安保法制＝戦争法の強行採決から10年となった9月19日、総がかり行動実行委員会と9条改悪NO！全国市民アクションが「武力で平和はつくれな！強行採決から10年 戦争法廃止！9・19国会正門前大行動」を行いました。

2300人（主催者発表）が参加し、「戦争法は今すぐ廃止」「憲法生かせ」「排外主義は許さない」とコールしました。

戦争と社会保障は相いれません。戦争準備のための軍事費よりも、社会保障の拡充で国民のいのちと暮らしを守れ声を大きくしていきましょう。

政治への不安や怒りが 寄せられた大塚駅宣伝 憲法東京共同センター

9月9日(火)大塚駅南口で憲法共同東京センターの宣伝行動が行われました。昼休みを使った30分の行動に11団体22人が参加しました。チラシ入りティッシュ200個を配布し、署名は14筆寄せられました。

署名に足を止めた人からは、「さきほどティッシュをもらって内容を見て署名をしようと思った。参政党が伸びたらとんでもないことになる。みんなで歯止めをかけなければならない」「自民党の腐敗ぶりは許せない、一日中テレビで取り上げられていることも腹立たしい」「年金を何とかしてほしい、子育て世代がクローズアップされているが、誰でも年を取るのに差別するのはおかしい」など、怒りの声が寄せられました。



悪天候でも様々な相談が寄せられた くらしなんでも相談会 太田社保協

9月18日(木)に、午後3時から役所が閉まる前の4時30分の間で JR蒲田駅西口広場で「くらしなんでも相談会」を実施しました。

生活、法律、経営・税金、労働、医療・介護のブースを設け、各団体から26名が集まり、相談対応やチラシ配布をおこないました。今回も社会福祉協議会よりレトルト食品の差し入れがありました。

今回は、夕方から豪雨になるとの予想もあり（結果的に雨にならず）人通りも少なく、相談は6件と例年より少なかったですが、内容は様々ありました。他相談者含め6名の方が看護師に血圧を測定してもらいました。

○相談内容は、○息子（30代）の居場所を探したい。10年くらい連絡とっていなかった。入院した

ときの保証人とかどうすればよいか不安

○要介護I、デイサービスを利用したいがどうしたらよいか。○知人にプレゼントし保護費がない。どうしたらよいか（生保）○一人暮らし、話せる人がほしい（高齢女性）○お金が貯まらない。来月から広島で働く。レトルトのピラフ持ち帰る（20代男性）参加団体は南部法律事務所、生活と健康を守る会、蒲田民主商工会、新日本婦人の会、城南福祉医療協会、城南保健生協、城南医薬協働の皆さん

社会福祉協議会よりレトルト食品（ピラフ、かゆ）

差し入れがありました。

《太田社保協 長澤信彦事務局長より》



各地域・団体の取り組み

市民の願い実現めざす方針を確認 日野社保協第29回定期総会



9月18日(木)ゆのした市民交流センターで日野社保協第29回総会が13人の参加で開催されました。

日野社保協は、昨年、現場の生の声を聞いて運動を進めようと、介護事業所の職員から聞き取りを行い、それをもとに日野市の介護保険課課長・係長と懇談、担当課からも「診療報酬の引き下げの影響が深刻」との回答がありました。社保協からは世田谷や品川の補助制度などについて紹介し、懇談しました。

日野社保協のすごいところは、声をかけると担当課の課長が、ゆのした市民交流センターまで出かけてくれる信頼関係ができています。

総会の中で、参加者から「資格確認証が送られて

きたが、改めて従来の保険証を発行させる運動が必要と思った」「補聴器は調整が難しくて使いづらい」「国保の署名はしてくれる人がたくさんいる。関心が高いとおもう」など、発言がありました。

新年度に向けて、参議院選挙で多くの政党が公約した消費税減税の実現、物価高騰に見合った年金の引き上げなどの国民の願いの実現をめざして飛躍できる年にしようと活動方針を確認しあい、山子会長の音頭で「団結ガンバロー」を行い閉会となりました。

次回の4の日宣伝 10月14日(火)巢鴨駅で 11月14日(金)12時から

地域社保協の情報をお寄せください

地域の取り組みの交流で
運動を前進させましょう！
チラシ・議案
東京社保協へメールで
情報提供をお願いします
ニュースなど